



津田小だより

松江市立津田小学校
令和8年5月19日
校長 小林 敏朗

先日、地域の見守り隊の方から「最近、小学生がよくあいさつをしてくれるよ。」というお話をいただきました。別の方からは「1年生がよくあいさつをしてくれる。入学式であいさつのことを話したから、1年生はがんばっているよ。」というお話をいただきました。また別の方からは「津田小の子どもたちは、あいさつをちゃんと返してくれるから気持ちがいい。」ということも伺いました。子どもたちのあいさつが地域の方々からよい評価をいただき、私自身もうれしく思いました。また5月上旬のある日、松江四中に向かっている途中、私たちの前の車が横断歩道手前で止まり、その後児童が横断歩道をわたりました。わたり終えると、その児童は止まってくださった車に対して頭を下げ、お礼の気持ちを伝えていました。このお礼を伝えることでもあいさつでも、このようなよいふるまいが津田っ子全体に広がっていくといいなと思いました。

児童総会から…

5月14日(木)2校時に体育館で児童総会を行いました。本校には11種類の委員会活動があり、それぞれの委員会の6年生が、めあてや常時活動・特別活動の内容、お知らせなどを発表しました。1～5年生全員を前にしていますので緊張はしていたと思いますが、堂々とした態度で発表することができました。また、1～5年生も各委員会からの発表をしっかりと聞き、最後には感想を発表していました。「6年生になって委員会に入って、ぼくも津田小学校を盛り上げたいと思った。」(3年生)「いろいろな活動があることがわかったから、どんどん参加したい。」(4年生)「来年、自分たちが中心になって委員会活動を盛り上げたい。」(5年生)などの感想が発表されました。これらの言葉の中には、6年生になったら「ぼくも…」「私も…」というような憧れの気持ちもあるのだろうなと感じました。



各委員会のめあて、常時活動・特別活動は次の通りです。(児童総会の発表順です。)

委員会名	めあて	常時活動	特別活動
くらし委員会	元気なあいさつを通して、行きたくなるような学校にしよう	毎日のあいさつ当番	ポスター作り あいさつスタンプラリー
放送委員会	津田っ子が笑顔で楽しめる放送をしよう	みんなが笑顔になる放送	いろいろな放送コーナー
体を守ろう委員会	津田っ子が笑顔で健康に過ごせる学校にしよう	石けん替え 準備運動	帽子・ハンカチチェック ポスター作り クイズラリー
スポーツ委員会	津田っ子が運動を楽しみ笑顔あふれる学校にしよう	ボールの空気入れ	秋のミニ運動会 体づくり習慣
図書委員会	笑顔あふれる本を全校に届けよう	図書館の本の貸し出し 本の整とん	図書キャラクター募集 読み聞かせ 図書祭り

委員会名	めあて	常時活動	特別活動
花いっぱい委員会	色とりどりの花で笑顔にしよう	花の水やり 花を植える 草抜き	花のキャラクターコンテスト 花のクイズ、紹介
びかびか委員会	びかびかで笑顔あふれる心地よい学校にしよう	朝そうじ	窓ふき クイズラリーポスター作り 体育館大掃除
見て見てけいじ委員会	笑顔ある学校にするために一人でも多くの人に面白い掲示物を見てもらおう	ポスター作り 新聞づくり 4コマ漫画	学校行事のポスター・新聞
ボランティア委員会	エコキャップ集めや赤い羽根共同募金を通して優しい人が増える委員会にしよう	エコキャップ集め	学年別エコキャップ集め 赤い羽根共同募金
メロディー委員会	津田っ子が笑顔になるメロディーを届けよう	好きな歌紹介・ランキング	ミニ音楽会
なかよし委員会	みんなが仲良くできるきっかけを作って全員が楽しめるような津田小学校にしよう	伝えたいことポスト	なかよしビンゴ なかよしポスター

各委員会ではこのようなめあてのもと、いろいろな活動に取り組んでいきます。学校でいうと委員会活動、学級でいうと係活動や当番活動になりますが、子どもたちが自分たちで自治していく力を養っていきたいと考えています。そして、子どもたちと教職員が一緒になって「笑顔あふれる津田小学校」を創っていきたいと思います。

津田っ子大運動会に向けて…

5月に入り、子どもたちは「津田っ子大運動会」本番に向けて準備や練習に取り組んでいます。各学年では体育の時間を使って学年種目の練習に取り組んだり、全校児童が色別に分かれて大きな声で応援練習をしたり、とても意欲的に取り組んでいます。色別会（応援練習）では、6年生が1～5年生それぞれの担当学年を決め、一人一人が役割と責任をもち、応援歌の練習や振り付けの指導に熱心に取り組んでいます。何となく応援練習というと、1～5年生までが一カ所に集まり、一部の6年生のリーダーが全体の前に出て指導や指示をするイメージですが、「〇年生担当」になるとすべての6年生が〇年生の前に出てリーダーとなって取り組まなければなりません。この「〇年生担当」という形式は、6年生一人一人に場を与え、一人一人を育てるのに有効だなと感じます。

今年度は5月30日（土）に津田っ子大運動会を行う予定です。1年生にとっては小学校生活初めての運動会、6年生にとっては小学校生活最後の運動会になります。特に6年生には、種目でも応援合戦でも悔いを残さない運動会にしてほしいと思います。

保護者や地域の皆様、お忙しいことと思いますが、30日（土）には子どもたちのがんばりに大きな声援や拍手を送っていただくと喜びます。お待ちしております。





＜今年度の津田っ子大運動会のスローガン＞
一致団結！津田っ子の力でフルパワー バトンをうけつぎ1位のとびらへ
＜赤組のスローガン＞
一人一人が主役（きゅうせいしゅ） 熱く輝いた心で炎を作り出そう
＜青組のスローガン＞
一致団結！青き龍を大空へ 羽ばたかせよう
＜黄組のスローガン＞
光り輝く勝利のバトンを笑顔で最後までつなげよう！
＜緑組のスローガン＞
緑のりゅうのように 全力で勝利を つかみ取れ！

今年度の学校経営方針について

今回の学校だよりでは、今年度の学校経営方針を載せています。お時間のある時にお読みいただければ幸いです。この経営方針の中で私自身が特に大切にしたいことは、子どもたち一人一人を「ポジティブ・フォーカス」すること、一人一人の「自己肯定感」を高めること、集団として「心理的安全性」を高めること、この3つです。「ポジティブ・フォーカス」とは、よいところやがんばり、成長、伸びなどに目を向けて認め、誉めていくということです。「自己肯定感」とは「自分は大切にされている、愛されている。大切な存在だ。」という思い、感情のことです。この自己肯定感が高まると、苦手なことにもがんばる力がわいてきたり、周りの人や自分自身を大切にする気持ちをもったりすることにつながります。「心理的安全性」とは、他の人の反応に対して怖さや恥ずかしさを感じることなく、自分を包み隠さず自然体で活動していける状態のことです。例えば、授業中「わからない。」「できない。」「教えて。」と躊躇なく言えたり、自分の失敗を話すことができたり、新しい考えやアイデアを安心して発表したりすることができる状態のことです。すべての学級、学年そして学校全体が心理的安全性の高い集団になるといいなと思っています。これら3つを大きな柱として、常に安心感のある空気が流れている学級・学校づくり、集団づくりに力を入れて取り組みたいと考えています。このような考えにご理解をいただき、ご家庭や地域でもお子さんや津田っ子たちのがんばりやよさ、成長に目を向け認め、誉めていただくと喜びます。よろしくお願いいたします。



松江市立津田小学校 令和8年度学校経営について

令和8年4月

校長 小林 敏朗



津田古志原夢きぼう学園

<松江市の学校教育プラン>

- ★確かな学力を育成するための教育の推進
- ★豊かな人間性を育むための教育の推進
- ★健康と体力を増進するための教育の推進
- ★松江市の特色を生かした教育の推進

<松江市小中一貫教育推進基本計画>

- 「地域の中で ともに学び ともに育つ 子どもたち」
～子どもたちの健やかな成長と
活力あるまちづくりに向けて～
- ◎学校・地域（校区）の教育課題の改善
 - ◎子どもたちの健やかな成長
 - ◎「ひとづくり」「まちづくり」

- 1 学校教育目標 「未来を切り拓く 心豊かなたくましい津田っ子の育成」
- 2 めざす子ども像
○創造的に自ら学ぶ子（知）○おもしろいのある子（徳）○明るくたくましい子（体）○最後までがんばる子（意）
- 3 学校経営方針

「子どもが主役の学校づくり」

- 安心・安全に生活できる学校・学級づくり
- 日々の授業づくりを中心に据えた学校・学級づくり
- 家庭や地域と連携し、信頼される学校・学級づくり

津田小の合い言葉

「元気なあいさつ 明るい笑顔」

- 4 学校経営方針の具体 ～子どもたちが主役・子どもを主語にして～

教職員みんなで、子どもたち一人一人をポジティブ・フォーカスしていきましょう！

- 安心・安全に生活できる学校・学級づくり
 - ・子どもと向き合う（聴く・受容する）スタンスをもつ
～子ども理解に努める（困り感に寄り添う・背景に目を向ける）
 - ・一人一人の自己肯定感を高める・育む
～一人一人のがんばりや伸びを認める、誉める
（結果より過程に目を向ける・一人一人に活躍の場を）
 - ・居心地のよい学級・学校、安心感のある居場所づくり・学びの基盤づくり
～3R（ルール・約束、リレーション、リフレクション）＋「手順」を教える
～心理的安全性の高い学級・学年・学校経営
 - ・子どもたちの人権を大切にする教育の推進～全ての教育活動を通じて人権教育を基底に
 - ・教職員からのあたたかい笑顔・姿勢・態度、言葉かけ、雰囲気づくり
～暴言・暴力・体罰、あらゆるハラスメント行為「0（ゼロ）」
 - ・安全でいじめのない集団づくり～我々のアンテナを高く、常に磨き、そして情報共有・記録
 - ・不登校・不登校傾向の子どもへの組織的対応（支援室・外部機関等との連携）
 - ・支援や個別の配慮を必要とする児童がいることを前提とした集団づくり・授業づくり
 - ・学年で学年全体の子どもたちを育てる～子どもを主語にして情報共有をする<例>R 道徳
 - ・子どもたち同士のつながりを大切にした異学年交流・学校行事・児童会活動
（関わる力・折り合いをつける力・成長をふりかえる・憧れをもつ）
 - ・学校内外の安全管理・安全指導の徹底～食物アレルギー対応、事故の未然防止等
 - 日々の授業づくりを中心に据えた学校・学級づくり
 - ・「わかった!」「できた!」の音が響く授業づくり・学級づくり
 - ・主体的・対話的で深い学びの授業づくり
～教師が話す授業から子どもの声で進む授業へ～
 - ・「不易」（道徳教育、図書館活用など）と「流行」（ICT、メディア活用など）の両輪を大切に
 - ・授業改善、授業力向上を目指す教員
 - ・日々の授業づくりを通して、子どもと共に成長する教員集団～常に学びつづける姿勢をもつ
 - ・校内研修の充実・自己研修、自己研鑽
 - 家庭や地域と連携し、信頼される学校・学級づくり
 - ・保護者の言葉をしっかりと傾聴する姿勢
 - ・保護者と共に考える姿勢をもつ
 - ・子どものよさや伸び、プラス情報を多く伝える
～日々の電話・連絡帳、学級通信、学年だより、学校だより、HPの更新等
 - ・地域とのかかわり、つながりを大切にする
- 5 本校の働き方改革の取り組みとして…「ポジティブ・フォーカス」
 - 子ども一人一人のよいところやがんばり、伸びに目を向け、認め、誉める
 - いけないことをしたら、子どもが納得する指導、そしてその後の支援